

# 男女共同参画に関するミニコラム Vol.12

## ～ ハローワークにおける新型コロナの影響 ～



ながた ひろゆき  
執筆 永田 弘行さん

(第11期羽村市男女共同参画推進会議委員、

青梅公共職業安定所次長)

新型コロナウイルスの新規感染者数は、秋以降、全国的に増加しており、東京都を含む一都三県では、令和3年1月8日に二度目の緊急事態宣言が発出されました。そのような中、地域の総合的雇用サービス機関として、職業紹介、各種雇用対策、雇用保険業務を一体的に行うハローワークの業務にも、さまざまな影響が及んでいます。

新型コロナウイルスの感染拡大で大きく影響を受けた労働関係指標の一つとして「有効求人倍率」があります。これはハローワークに仕事探しの申し込みをされた方1人に対して、何件の仕事があるかを数字で表した指標です。新型コロナウイルスの影響を受けていない令和元年12月は東京都2.08倍、青梅所管内1.28倍と高い数値を示していましたが、最新の数値では東京都1.16倍、青梅所管内0.81倍となるなど、大変厳しい状況です。

特にサービス産業から11月中に当所に申し込まれた求人数は、前年と比べ70%以上減少しています。この業種は女性の求職者が多いなどの状況から、雇用環境に大きな影響を与えています。

一方で当所に仕事探しの申し込みをされている求職者の数（有効求職者）は前年比で30%以上増加しており、ここにも雇用環境の厳しさから離職した方や、転職を検討している方が増加していることが表われています。

ハローワークでは、求人情報の提供や、一人ひとりのニーズに合わせた個別担当制による就職支援、公共職業訓練を活用したキャリアチェンジの相談など、さまざまなメニューにより就職に向けたお手伝いをさせていただいています。

かつての日常に戻るまではまだ時間がかかるかもしれませんが、ハローワークは変わらず、いつも皆さんをお待ちしていますので、仕事に関するご相談の際はぜひ利用してください。

羽村市企画政策課企画政策担当  
電話：042-555-1111（内線314）  
ファクス：042-554-2921  
メール：s101000@city.hamura.tokyo.jp